

軸受・軸封

1-1. 軸受箱の種類

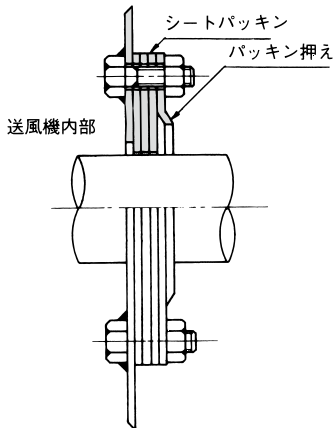
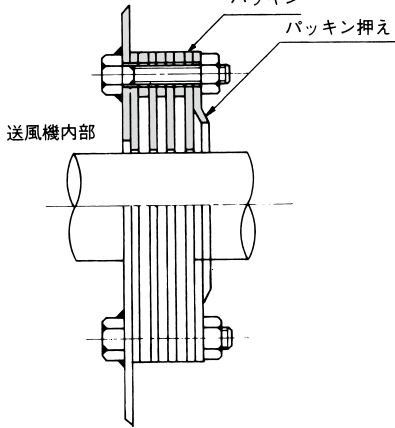
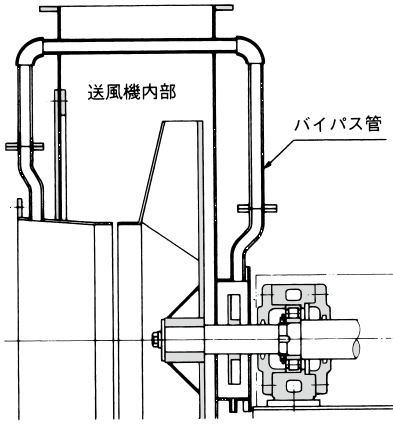
表 1

種類	クラス別	反 駆 動 側	駆 動 側
U C P ピロー型 ユニット	クラスI	<p>UCP 2 08</p> <p>軸受箱</p> <p>軸受</p> <p>止ねじ</p>	<p>軸受箱</p> <p>軸受</p> <p>止ねじ</p>
M 型 軸受箱 (グリス潤滑)	クラスII	<p>グリスニップル</p> <p>軸受箱</p> <p>軸受</p> <p>M 50</p>	<p>グリスニップル</p> <p>軸受箱</p> <p>軸受</p>
C M 型 オイルバス 水冷式 軸受箱	クラスIII	<p>CM 50</p> <p>内径番号(軸受内径50mm) 軸受箱形式記号(CM型)</p>	<p>エアブリーザ</p> <p>給油板</p> <p>オイルゲージ</p> <p>軸受箱</p> <p>軸受</p> <p>スリンガ</p>
W M 型 水冷式 軸受箱 (グリス潤滑)	クラスII 水冷	<p>グリスニップル</p> <p>軸受箱</p> <p>軸受</p> <p>WM 50</p>	<p>グリスニップル</p> <p>軸受箱</p> <p>軸受</p>

## 1-2. 軸封の種類

軸封部（軸がケーシングを貫通する部分）より、ケーシング内の気体が外部へ漏れたり、空気が送風機内へ吸込まれたりすることは作業上種々の支障を生じるだけでなく、人畜に被害を及ぼし、場合によっては爆発などの大事故を起こすこともありますので、軸封について十分な注意を払う必要があります。  
 当社送風機の標準軸封はシートパッキン式を採用しており、ラビリンス式、バイパス式など特殊用途の軸封も製作することができます。

表 2

	シートパッキン式	ラビリンス式	バイパス式
軸封構造			
説明	<p>軸封部の軸の周速度が 12m/sec を越すものや、350℃迄の高温気体を取扱う場合に適用可能です。シート状のパッキンを 1~5枚仕様に依じて用います。</p>	<p>軸封部の軸の周速度が 12m/sec を越し、内部の気体が多少外部へ漏れてもよい場合に使用されます。ラビリンス材料にはシート状のパッキンを用い、その間に平鋼をはさんだ構造とします。</p>	<p>軸封部から外部へ漏れようとする気体の風圧を利用し、バイパス管を通して吸込側へ気体を流します。ガスが漏れようとする風圧と、吸込側の吸引しようとする2つの力が働いた場合効果がありますが、送風機停止時に漏れ易い欠点があります。</p>